

[各部署教育最前線]

自ら考え行動する人材の育成と様々な人が集う 地域イノベーションのハブ拠点を目指して

諏訪部 圭太（三重大学地域イノベーション学研究所）

本研究科は、学部組織のない独立研究科として平成21年に設立された大学院です。設立当初は先端融合工学ユニットと総合バイオサイエンスユニットの2種の理系専門分野で構成していましたが、地域ニーズの高まりに応えるために、地域や組織に変革を起こす社会起業家（ソーシャル・アントレプレナー）人材を育成するための「社会イノベーションユニット」の追加や、文理融合型の博士後期課程「地域新創造ユニット」への組織改編を進め現在に至ります。教育理念としては、社会が求める即戦力型人材であるプロジェクト・マネジメントができる研究開発系人材およびソーシャル・アントレプレナー人材の育成に特化した教育を展開し、高度な専門知識および応用能力を持ち創造性豊かな研究開発活動を進めることができる高度専門職業人および研究者、地域社会の将来を担う中核人材を育成することを目標としています。また、地域企業および自治体等が抱える課題の克服に必要な学際的研究を実施し、その成果を社会に還元することを主な学術的目標とし、工学・バイオ・人文社会科学を専門とする学者・研究者が結集した学際的な組織です。在籍する学生も多岐にわたり、博士前期課程・後期課程共に一般学生と社会人学生から構成され、専門分野や年齢、社会的立場が異なる人材が集まっています。すなわち本研究科の特色および強みは、専門分野の学際性と教員・学生を含めたすべての人材の多様性の高さにあります。既存の学問体系にとらわれない独創的な教育・研究組織です。

このような多様性の高い学際的教育・研究を行うために、本研究科では、基礎研究能力を指導する教員（R&D教員）とプロジェクト・マネジメント能力を指導する教員（PM教員）がタッグを組んだサンドイッチ方式教育や、地域企業との共同研究プロジェクトを通じた **On the Project Training (OPT)** 型教育、国際感覚を養うための国際ワークショップの開催、長期インターンシップ研修等の独自の教育的取り組みを実施し、プロジェクト・マネジメントができる研究開発系人材を育成してきました。ここ数年は **COVID-19** による影響でこれら活動に様々な制約がありましたが、少しずつ通常の活動が可能になってきた状況を踏まえ、今年度（令和5年度）は3年ぶりに国際ワークショップ **IWRIS2023** を完全対面形式で開催し、国内外から2日間でのべ140名の方に参加いただきました。研究発表だけでなくバンケットも開催し、盛大かつ活発なワークショップを開催することができました。また、長期インターンシップ研修も対面開催を再開し、博士前期課程学生は2～4週間の長期に渡る現場体験を経験することができ、成果報告会も活発に行われました。

設立からまだ14年と歴史は浅い研究科ですが、一般学生と社会人学生が共に学び切磋琢磨する場として、地域とともにムーブメントを共創する産学官およびヒト・モノが結集する「集いの場」として、地域イノベーションのハブ拠点となることを目指しています。